

情報能力育成全体計画

＜学校の教育目標＞

心身ともに健康で、自立した社会人の育成を目指し、次の目標を設定する。

- 一、自ら考え、向上しようとする人
- 一、責任感と思いやりのある人
- 一、健康でねばり強い人

＜生徒の実態＞

生徒のほぼ全員がコンピュータの起動・終了等の基本的な操作及び、問題解決に向けて、インターネットを利用して情報を収集できる。キーボードによる十分な速さで正確に文字入力できる全校生徒の割合は3割程度である。

＜地域の実態＞

多くの家庭で一家に一台以上タブレット端末やコンピュータを所有し、無線でインターネットに繋がられる環境に整備されている。

＜情報教育の目標＞

情報及び情報技術並びにプログラミングに関する知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養を目指すとともに、各教科等で学ぶ知識及び技能等をより確実に身に付けることができるようにする。

＜保護者・地域の願い＞

ICT 機器を効果的かつ、自立的に活用できるよう成長してほしい。

＜教師の願い＞

タブレット端末や ICT 機器を効果的に活用し、問題を解決したり、自分の考えを形成するために必要な資質・能力等を育成したい。

＜育成を目指す資質・能力＞

- ・問題の解決に向けて、自ら学びへの意欲をもち、計画的に追究し、筋道を立て考え、表現する力
- ・向上心をもって、主体的に取り組み、自己肯定感、自己有用感を高めるとともに、自他を尊重し互いに認め合いながら、人間関係を形成する力
- ・健全な生活習慣を身に付け、健康で安全に生活するとともに、創意工夫しながら、ものごとを最後までやり抜く力

＜各教科等におけるＩＣＴを活用した学習活動等について＞

国語科	社会科	数学科	理科	音楽科	美術科
- インターネットを活用して学習課題に関連する情報を調べたり、集めた情報を内容に応じて整理したりする。 - タブレット端末のカメラ機能を活用し、スピーチや話し合いの様子を録画・再生して自分の話し方を確認したり、助言し合ったりする。	- タブレット端末を活用して、目的に応じて様々な情報を集める、また、資料を読み取る。 - 情報機器を用いて、デジタル化した情報を統合したり、編集したりしてまとめる。 - 数値情報をグラフに変換する。	- 関数の学習時に、表計算ソフトを活用し、表、式、グラフの相互の関係を捉える。 - 三角形や四角形の合同や相似を証明する学習時に、図形を動かしたり、重ねたりする操作をし、考えたことを発表する。	- 観察、実験の学習時に、タブレットを活用してデータ処理やグラフの作成をすることを通して、規則性や類似性を見いだす。 - 通常では計測しにくい量や変化を、センサーを用いて数値化・視覚化して捉える。	- 授業支援ツールを使用し、音楽を聴くことと楽譜を見ることを同時に行う。 - 音楽制作アプリを使って創作活動を行う。	- 実技指導の際、iPadを書画カメラ代わりに使用し、大型テレビに映し、道具の使い方や制作手順を学ぶ。 - タブレットで作品の資料を共有し、イメージを膨らませ、作品制作に生かす。
保健体育科	技術・家庭科	外国語（英語）科	総合的な学習の時間	特別の教科道徳	特別活動
- タブレット端末等を学習に必要な情報の収集やデータの管理・分析、課題の発見や解決方法の選択などで活用する。 - 技能の習得の場面で、毎時間の動きを撮影したり、動きの変容を確認したりする。	- タブレット端末を活用して、生徒一人一人の製作品のアイデアを経済性、安全性等の視点から修正・改善する。 - 様々な種類の料理や作品等を写真や動画で撮影・保存することにより、それらを活用して解決方法を検討する。	- 調べ学習等の場面で、情報を外国語で検索したり、収集したりする。 - 学んだ内容に関連のある実際の音声教材として使用し、音声の速度を変えたり、繰り返し再生をしたりして個別の支援を行う。	課題を設定するときには、インターネットを活用してグローバルな課題を設定したり、整理・分析するときには、表計算ソフトを用いて表やグラフに表したりする。また、まとめ発表時にプレゼンテーションソフトを活用する。	- 導入の場面で、インターネットを活用して視覚的教材を積極的に活用する。 - 答えが一つでない道徳的な課題などを取り上げる場面で、生徒一人一人の意見を比べたり、分類・整理したりする	- 学級活動では、個人の意見を表明し合うとともに、意見を比べ合い整理する。 - 生徒会活動では、大きな集団の意思表明、合意形成に向けた話し合いに活用する。

※情報モラルに関しては、国語科、社会科、音楽科、技術・家庭科、特別の教科道徳、各教科及び、セーフティ教室、ネットリテラシー醸成講座等で取り扱うのみでなく、各場面で使用する際に都度指導する。

※健康面においては「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」を基に教室環境を整え指導する。

※情報機器の扱いや操作スキルを育成する時間を適切に確保するようにする。

＜活用する情報機器等＞

- ・タブレット端末 ・大型モニター ・プロジェクター ・電子黒板 ・Bluetooth 対応アンプ ・iprojection など